



来夏に繋げよう！ひまわりの輪

「はるかひまわり」種の収穫と選別



思いやりの輪を次につなげるために

12月16日、「はるかひまわりプロジェクト」で収穫したヒマワリの花茎から種を取り出す作業を、日野高校生徒会と地域のボランティアの皆さんが協力して行いました。

今夏、町内のさまざまな場所で咲き誇ったはるかひまわり。収穫された種は、今後日野高校から米子南高校に引き継ぎが行われ、町内でもさまざまな場所で、はるかひまわりの輪を広げていく予定です。



表彰状を手に喜ぶ小倉さん

11月24日、令和3年度鳥取県教育委員会表彰が白兔会館（鳥取市）で行われ、日野中学校3年生の小倉啓太郎さん（下黒坂）が受賞し、23日、役場に報告に訪れました。これは、学芸素行などが優秀で、他の模範となる生徒に贈られるものです。小倉さんは、2年生から生徒会長を務め、各行事や委員会活動を先頭に立って行っています。また、小学生のころから町民ミュージカルのメンバーとして活動するなど、地域行事にも積極的に参加していることなどが評価され、受賞に至りました。

後輩の手本となるように
小倉啓太郎さんが鳥取県教育委員会表彰を受賞

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第101回

ボクシングとは関係なさそう…

早いものでこの連載も101回目！今年も新たな気持ちで日野の面白い言葉を掘り下げていこうと思います。

今回は、郷土料理「じゃぶ（汁）」の由来を調べてみました。NHKのお正月番組にて、日野町の「イノシシのじゃぶ」が紹介されていたからです（決してネタ切れではない）。

「じゃぶ」は、県内全域で親しまれている料理で、肉や豆腐、野菜などたっぷりの具材を大鍋で煮たものです。日野地域では鶏肉やイノ

シシ肉を使いますが、東部ではなんと肉の代わりにウグイを入れたり、地域によって具材はさまざま。

その「じゃぶ」の由来ですが、たくさん具材をじゃぶじゃぶ投入する事によるもの、煮るうちに素材から水分がじゃぶじゃぶ出るからというもののほか、「余り物」のことをじゃぶと呼ぶから、という変わり種もありました。

まあ、難しいことは考えずに、今夜はじゃぶ汁にしようじゃないですか！

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

【鳥取県西部広域行政組合からのお知らせ】

各種手続の押印が不要となりました

組合の各種手続について、住民や事業者の皆さんの利便性向上のため、提出する申請書などへの押印を令和3年12月1日から省略することができるようになりました。

《押印の義務付けを廃止した主な手続き》

- ▼一般家庭のごみをリサイクルプラザへ搬入するとき ※運転免許証等の確認を行います。
- ▼発電設備・変電設備・蓄電池設備などを設置したとき
- ▼防火対象物（飲食店、共同住宅、事務所など）の使用を開始するとき

※その他の押印を廃止する申請書等については、組合ホームページで確認できます。

【問合せ先】

- ・鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課（電話 0859-22-7722）
- ・リサイクルプラザに関すること
⇒リサイクルプラザ（電話 0859-68-4071）
- ・消防に関すること⇒消防局（電話 0859-35-1951）

読んでみたらんかな～

町職員が
オススメする1冊♪
“今読みたい本”が
見つかるかも！



『お探し物は図書室まで』

青山 美智子 著 / ポプラ社

「お探し物は、本ですか？ 仕事ですか？ 人生ですか？」

仕事や人生に行き詰まりを感じている5人がふとしたきっかけで訪れた、町の小さな図書室。相談者は誰にも言えなかった本音や願望を、不愛想だけど聞き上手な司書さんに話してしまいます。話を聞いた司書さんが、図鑑、絵本、詩集と、一風変わった選書をしてくれるのですが、選書一覧を印刷した紙と一緒に、相談者には、「本の付録」として、とある物が渡されます。そこから物語は展開していき…。

司書さんを軸にして、年齢も性別も立場も違う5人の主人公に焦点を当てた短編集。ささいなきっかけから、自分が本当に「探しているもの」に気が付き、そっと背中を後押しする、そんな温かみのある小説です。「本は作り手の狙い

とは関係のないところで、そこに書かれた幾ばくかの言葉を、読んだ人が自分自身に紐付けて、その人だけの何かを得るんです」(本文より)

この本を読む人によっては、現実の人生にふと重なるものがあるかもしれません。

この本を紹介 してくれたのは…

健康福祉課

おんだ ゆきまさ
音田 幸真 主任

健康福祉課内にある地域包括支援センターにて勤務しています。仕事内容は、介護や健康などの側面から高齢者の皆さんを支える、総合相談窓口のような役割を担っています。相談ごとなどありましたら、誠実に対応しますのでお気軽に相談してください。よろしくお願いします。



12月16日、日野高校出身で東京2020オリンピックの女子エアライフルに出場した中口遥さんが、黒坂警察署の一日警察署長を務めました。

これは、年末年始特別警戒取り締りなどの一環。中口さんは出発式で訓示を行った後、広報パレードに出動するパトカーを敬礼して送り出しました。

その後根雨地区内で、行き交う人に啓発チラシを配り、交通事

故と特殊詐欺被害の防止を呼びかけたり、町役場で、特殊詐欺被害などを防止するための防災行政無線放送の録音を行い、メッセージを読みあげました。

中口さんは、「町の皆さんが温かい言葉をかけてくださって、励みになりました。射撃を通して、良い結果が報告できるようにがんばりたい」と、笑顔で次のオリンピックへの意気込みを語りました。



スマイルで敬礼 中口遥さんが黒坂警察署の一日警察署長

▲一日警察署長として「敬礼！」
◀防災行政無線放送の録音を行う中口さん